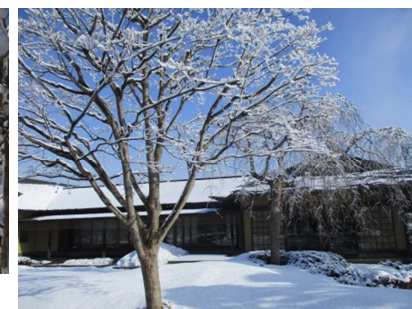
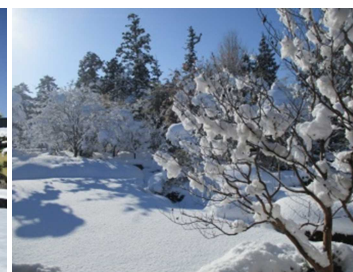


祥しょう

雲うん

閣かく

たより Vol.43



祥雲閣 でお茶を楽しみませんか

明けましておめでとうございます。
今年も皆さんに安心して呈茶をしていただける空間づくりを引き続きしていきたいと思ひます。
宜しくお願ひ致します。



『祥雲閣』は荒雄地区の旧家、青沼家が所有していた貴賓館の名称を受け継ぎ、平成6年に開館しました。庭園内には茶室「龍華庵」があります。

立礼茶室では日曜から金曜は抹茶、土曜は煎茶と和菓子をお出ししています。

抹茶は茶筌でふんわり泡立てられ、茶碗の美しい模様に季節を感じることができます。煎茶は一



煎目で甘味、二煎目でさわやかな苦みを味わっていただけるよう、お茶の葉の量やお湯の温度、抽出時間を調整してお出ししています。

庭園の景色を見ながらゆっくりとした時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



四季折々の祥雲閣

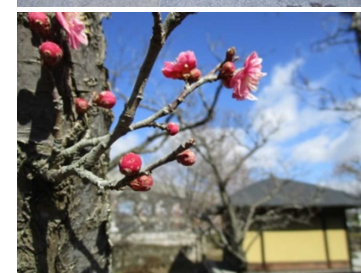
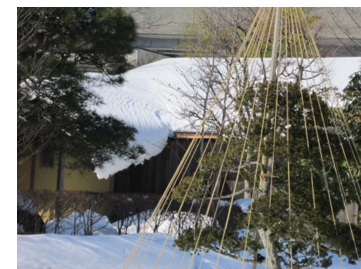
冬の風景

冬になると祥雲閣の庭園は降り積もった雪が作り出す白銀の静かな景色になります。松に雪の重みで枝が折れるのを防ぐ雪吊りが施され、この時期だけの景色をご覧ください。

新年を迎えるために飾る門松に使われている「松」「竹」「梅」は「歳寒三友（さいかんさんゆう）」と呼ばれます。

松は冬でも青々とし、竹は雪の重みにも折れないしなやかさがあり、梅は寒さが厳しい中花を咲かせることから、冬の寒さに耐えるたくましくおめでたい樹木とされます。

二十四節気「小寒」から「節分」までの期間を寒の内とも言います。これから寒さが増して冬本番を迎えます。庭園の梅のつばみはまだ固く一陽来復の春が待ち遠しいです。

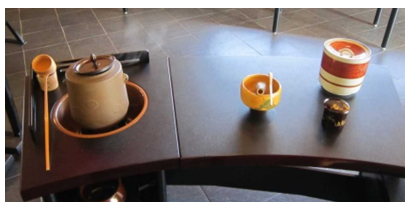


祥雲閣の茶道具

扇面立礼卓（表千家十四代而妙斎好）



立礼卓は明治時代に外国からの要人を招いた時に考案された棚です。通常、畳の上でお点前を行い、お茶をたてて出しますが、足の悪い方や正座の苦手な方にも安心してお茶を楽しみお事ができるよう、各流派で研究と研鑽が積み重ねられ、室内のみならず野外（庭園）でも使われます。



一月の菓子

花びら餅

茶道の行事に「初釜」があります。正月最初に行われる茶会や稽古始めにあたり、新春にふさわしいおめでたい掛軸や花が床の間に飾られます。

その初釜で使われることで知られるようになった和菓子が花びら餅です。宮中のおせち料理をもとにしており、白の丸い餅にピンク色の餅と白味噌餡を置き、甘く煮たごぼうをのせて半円型に包んだ和菓子です。



※流派により違いがあります

カレンダー

※ は休館日（変更する場合があります）

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	⑦				1	2	3	④				1	2	3	④
8	9	10	11	12	13	⑭	5	6	7	8	9	10	⑪	5	6	7	8	9	10	⑪
15	16	17	18	19	20	⑳	12	13	14	15	16	17	⑱	12	13	14	15	16	17	⑱
22	23	24	25	26	27	㉘	19	20	21	22	23	24	㉙	19	20	21	22	23	24	㉙
29	30	31					26	27	28					26	27	28	29	30	31	

◇◆祥雲閣のご案内◆◇

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら
500円でお茶とお菓子を味わえます。
(10時～16時まで)

茶道をはじめ、狂言、仕舞、謡、舞踊等の発表会やお稽古などに和室や研修室をご利用いただけます。



◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

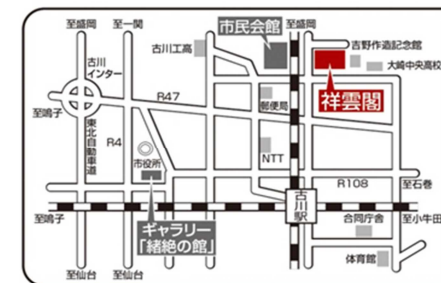
◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川ICより車で約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日
(月曜が祝日の場合は翌日)
12月29日～1月3日

◆入館料 無料



大崎市祥雲閣

令和5年1月4日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385